



イベント・シンポジウム等実績報告書 | 配分事業費：390千円

## 「科学」に関する啓発イベント

### 目的・趣旨

先端科学に関する啓発・啓蒙の目的で、展示とワークショップ等を組み合わせたイベントを図書館内のスペース等で実施する。テーマは、太陽系を構成する「惑星」として、特にそれぞれの惑星の持つ特徴的な「色」に着目して、分かりやすい解説を行った。

### 日時・場所

令和6年3月18日～令和6年3月30日  
静岡文化芸術大学 図書館・情報センター

### 体制

(実施代表者) デザイン学部 デザイン学科 教授 的場 ひろし  
デザイン学部 デザイン学科 教授 かわ こうせい

### 内容

Zoomを使って、3月22日（13:30～15:00）に、「太陽系の色」と題するワークショップを実施した。また、図書館内展示スペースを利用して、「太陽系の色」のワークショップに関連する展示を、3月18日～3月30日の期間に実施した。



### 結果・成果

「太陽系の色」のワークショップは、佐竹渉氏（千葉工業大学 地球学研究センター 研究員）と小熊みどり氏（科学コミュニケーター・サイエンスライター）の2人を講師として、本学内でZoomの遠隔会議の環境を整え、講師と参加者全員がオンラインで参加する形式で実施した。参加者は11名で、内訳は本学学生2名、本学教職員1名、近隣の高校の学生4名と教員2名、県内文化施設関係者2名である。講師からのレクチャーの後にZoomのブレイクアウトルームの機能を活用して、参加者が3つのグループに分かれて惑星の絵を描き、最終的にグループで作成した惑星の色に関する発表を行った。ワークショップ後のアンケートから、参加者が実施内容に満足していただいたことが分かった。図書館で実施した関連展示では、ワークショップの2人の講師を中心として内容を検討した「太陽系の色」に着目した図表を掲示し、図表の内容に関連のある本学図書館所蔵の書籍約50冊を陳列した。さらに、月の満ち欠けを学習するためのインタラクティブな学生作品の動態展示を行った。多くの来場者に展示を見ていただき、「分かりやすい」「興味深い」等の意見をいただいている。これら2つの活動を通して、太陽系に関する興味、科学に関する興味を喚起するイベントが実現でき、学内外に対して有効な情報発信ができたと考えている。

